

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月20日(2023.3.20)

【公開番号】特開2022-170937(P2022-170937A)

【公開日】令和4年11月11日(2022.11.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-208

【出願番号】特願2021-77222(P2021-77222)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月10日(2023.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する第1制御手段と、

演出を制御する第2制御手段と、

発光可能な発光手段と、を備え、

前記第1制御手段は、

始動条件の成立により判定情報を取得し、

前記判定情報に応じて特別遊技を行うか否かの判定を実行可能であり、

前記第2制御手段は、

前記判定の結果に応じて演出図柄を変動させてから停止させる変動演出を実行可能であり

30

特定画像を所定表示態様により表示可能であり、

前記所定表示態様の特定画像は、前記判定情報に対応し、

前記発光手段が特定態様であるときに前記始動条件が成立した場合、前記所定表示態様の前記特定画像を表示する前に、特定表示態様の前記特定画像を表示可能であり、

前記発光手段が前記特定態様とは異なる所定態様である特定演出モードにおいて前記始動条件が成立した場合、前記特定表示態様の前記特定画像を視認困難にする又は表示制限する、ことが可能である遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記の目的を達成する本発明は、次のような遊技機として実現される。この遊技機(例えば、遊技機1)は、遊技の進行を制御する第1制御手段(例えば、主制御基板110)と、演出を制御する第2制御手段(例えば、演出制御基板130)と、発光可能な発光手段(例えば、トップランプ10b、盤ランプ74b、可動部材ランプ74c、ボタンランプ17c)と、を備え、前記第1制御手段は、始動条件の成立により判定情報を取得し、

50

前記判定情報に応じて特別遊技を行うか否かの判定を実行可能であり、前記第2制御手段は、前記判定の結果に応じて演出図柄を変動させてから停止させる変動演出を実行可能であり、特定画像（例えば、保留画像702）を所定表示態様（例えば、図160（4）に示す完成表示態様）により表示可能であり、前記所定表示態様の特定画像は、前記判定情報に対応し、前記発光手段が特定態様（例えば、図157（6）に示す第2態様）であるときに前記始動条件が成立した場合、前記所定表示態様の前記特定画像を表示する前に、特定表示態様（例えば、図160（1）乃至（3）に示す未完成表示態様）の前記特定画像を表示可能であり、前記発光手段が前記特定態様とは異なる所定態様（例えば、図195（5）および図228（1）に示す第8態様）である特定演出モード（例えば、客待ち状態）において前記始動条件が成立した場合、前記特定表示態様の前記特定画像を視認困難にする又は表示制限する、ことが可能である。

10

20

30

40

50